



人類に
奉仕する
ロータリー

Chitose Rotary Club

千歳ロータリークラブ会報

2017年3月23日

第26号 (通算2324号)

大西会長方針

「相手の気持ちになろう、ロータリーの気持ちになろう」

会長 大西 信也 副会長 齊藤 博徳 幹事 今野 良紀
会長エレクト 瀧澤 順久 会計 喜多 康裕
第2510地区ガバナー 武部 實 第7グループ・ガバナー補佐 高木 繁秀

ロータリー創立日 1905年2月23日
千歳RC創立日 1968年4月26日

～3月は水と衛生月間～

本日の例会 (3月23日 第28回) 通常例会

担当：健康委員会

第27回 (通算2460回) 夜間移動例会報告

日時：2017年3月16日 (木) 18:30～20:00

場所：駒そば亭 (会員関連企業)

プログラム：夜間移動例会

担当：親睦活動委員会、健康委員会

進行：SAA・プログラム委員会 牟田 裕一 副委員長

四つのテストは割愛

会長挨拶 (大西 信也 会長)



皆さんこんばんは。今夜は「駒そば亭」での夜間移動例会です。

歴代の会長さんは、蕎麦の効用についてお話していますので、私は「蕎麦の食べ方」をお話したいと思います。やはり、海苔が載っている「ざる蕎麦」を注文しましょう。

①まず一口目は、蕎麦つゆを付けずに「そのまま」食べて風味を感じましょう。

②蕎麦つゆを少し飲み、濃さを確認しましょう。

③お箸で蕎麦をつまむ時は一口で食べられる量にしましょう。

④蕎麦をつゆに付け過ぎないようにしましょう。蕎麦をつける量は、持ち上げた側の下半分くらいです。またつゆの濃さでつける量を変えましょう。

⑤刻みネギやワサビなどの薬味は、蕎麦つゆに付けずにその都度適量を蕎麦に乗せて食べた方が風味を楽しめます。

⑥蕎麦湯は必ず飲みましょう。蕎麦湯には余分な塩分を排出してくれるカリウムが蕎麦から溶け出しています。

番外編ですが、天ぷらの薬味も具にのせて食べましょう。大根おろしなどの天ぷらの薬味も、天つゆに入れず具材にのせて食べた方が、風味が引き立ちます。お店によっては蕎麦つゆと天つゆが同じ器のときがあります。そのような時も薬味をつゆに入れなければ、それぞれの味を楽しむことができます。

また、かけ蕎麦の食べ方ですが、蕎麦の香りをしっかり感じることはできませんので、蕎麦つゆの調和を楽しみます。つゆの味が濃いかけ蕎麦は、蕎麦だけ食べましょう。つゆの味が薄めのかけ蕎麦は、つゆを飲みながら食べると丁度良い味わいとなります。かけ蕎麦でも蕎麦湯を飲んだ方が良いので、お店の方に言って出してもらいましょう。

長々とお話しましたが、ちょっとは参考にさせていただければ幸いです。今夜はおいしいお蕎麦を食べながら、おいしいキリンビールを飲みましょう。

幹事報告 (今野 良紀 幹事)



1. 3月23日通常例会時の卓話は健康委員会が担当です。部外講師は医療法人 資生会 千歳病院 理事長 佐藤正俊様です。テーマは「改正道路交通法 (高齢者対策について)」となっております。沢山のご出席をお願いいたします。

2. 3月26日 (日) は長沼町で第7グループIMが開催されます。バスはANAクラウンプラザホテル千歳前を12:20に出発いたします。

3. 4月18日は千歳セントラルRCとの合同例会となります。詳細は後日事務局よりFAXします。沢山のご出席をお願いいたします。

米山功労者表彰 (長澤PC感謝状受ける)



米山記念奨学会の米山功労者表彰を長澤 邦雄 パスト会長が受賞されました。

長澤 邦雄 パスト会長、おめでとうございます！

石崎会員の後任会員挨拶



北海道電力(株)札幌支店千歳支社長 岡田 信行 様 (4月1日入会予定)

4月1日付 石崎 薫 支社長の後任者

前任所属：本社 配電部
技術高度化グループ

皆さんお晩でございます。石崎の後任でまいりました岡田と申します。4月1日より北海道電力(株)千歳支社長として赴任いたします。千歳RCにも入会いたします。皆様と仲良く楽しくやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員会報告

健康委員会 藤川 俊一 委員長



3月23日の通常例会は、部外講師による卓話です。講師は、医療法人 資生会 千歳病院の理事長 佐藤 正俊 先生に卓話をお願いしております。卓話の内容は「改正道路交通法 (高齢者対策について)」です。

懇親会

進行：親睦活動委員会 小畑 彰 委員長



本日は健康委員会、親睦活動委員会担当の夜間移動例会となっております。人気の例会ということで沢山の会員のご参加をいただき、ありがとうございます。今日はお酒も色々をご用意しております。「駒そば亭」の美味しい蕎麦と料理、そしてお酒で、皆さん楽しく語り合っただけで懇親を深めてください。

◇乾杯のご発声：武石 忠俊 パスト会長



皆さんこんばんは。「駒そば亭」で夜間移動例会を開いていただきまして心より感謝申し上げます。

この「駒そば亭」について語って下さいということなので簡単にお話をしたいと思います。

昭和56（1981）年の千歳川の大洪水をきっかけとして、昭和59（1984）年に治水対策計画が建設省（現国土交通省）の河川審議会で策定され、閣議決定されました。その内容は、千歳川の中流部から駒の里を通る、長さ約40km、幅200～300mにも達する巨大な人工の水路（千歳川放水路）を掘り、洪水時にだけ千歳川の水を太平洋に出してしまうというものです。しかしこの計画は、平成11（1999）年に中止になりました。結果として千歳川放水路中止に伴う、放水路ルート上の営農上の補償問題が残りました。

国、北海道、千歳市の三者が平成11（1999）年8月11日に駒の里を訪問。担当者は涙を流して「申し訳ない」と謝罪し、「代替案を考えたい」と発言しておりました。

しかし、千歳川放水路計画が中止になったからといって、国には、農家をサポートする法律はありません。従いまして、既存の法律を駆使し、国と北海道と千歳市が力を合わせて地域の人に様々なサポートをします。ということで了解していただきたいとお話でした。

その後、サポートに向けた検討会がスタートしました。検討する課題は52項目もありましたが、結果として平成16（2004）年までに実現できたものは、一つもありませんでした。最終的には「補助金を出しますので有効活用してほしい」ということで駒の里内地域で補助金を預かりました。それをどう活用するか、また、どのように活用するのが地域の人々のために公平になるのかを考えました。

私としましては、駒の里に農業協同組合を設立して、そ

の資金の運用を図るのが、もっとも有効な方法だと考えましたが、この時期は農協が合併を迫られていた時代であったため、農協を作るといって自体が難しく、北海道からは、なかなか良い返事を貰えず、時間がどんどん経過しましたが、平成16年12月頃ようやく農協設立の認可を受けることができました。そして農協で具体的に何をするか、様々な検討を行った結果、駒の里で蕎麦を栽培することに決めました。

しかし、駒の里では蕎麦を一度も植えた経験がありません。ですが、その頃、幌加内が蕎麦でそれなりの成果を上げているということを知り、幌加内まで見学に行きました。見学後、駒の里でも蕎麦栽培の可能性があると考え、長野県や福島県の方にも視察に行き、更に検討を進めた結果、蕎麦作りを始めることを最終決定した次第です。

まず、亡くなりました沼山 佐太郎 パスト会長が試作として1ヘクタールの土地に蕎麦を植えました。ところがその年に台風18号が来て蕎麦は全滅してしまいました。そのようなスタートでしたが、駒の里地区の皆さんの頑張りで、今は立派な蕎麦を収穫するまでに至っております。

この「駒そば亭」は千歳RC会員の中山和朗パスト会長の会社であります中山建設（株）にお願いし、建設していただきました。そして、そばの会を作ることになり、平成18（2006）年6月に第1回目の「駒そばの会」が行われ、長澤 邦雄パスト会長に初代代表になっていただきました。そして現在は末廣 孝パスト会長が「駒そばの会 会長」となっております。「駒そばの会」は今年で19年目です。現在も地域の皆さんと頑張っております。どうか皆さん、地元のそばを末永く愛して下さい。どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

それでは、皆様の益々の御繁盛と駒そば亭の発展を祈念して乾杯したいと思います。乾杯！



※美味しい料理を堪能しながら、キリンビール・焼酎などを楽しむ人、「やはり蕎麦には日本酒だ!」と熱く語りながら熱燗や冷酒を楽しむ人など、皆さん笑顔で懇親しています。



※「そば」についてお話をしている「駒そばの会」末廣孝会長（千歳RCパスト会長）

お酒とお蕎麦で満足し、みなさん笑顔で「駒そば亭」を後にしました。お疲れ様でした！

出席率

今回：71.4%（3月16日＝45/63 実数）

確定：65.1%（2月23日＝41/63、うちMu:0名）